



ふれあい 放水路

1998
(平成10年)
第46号
1月



迎春

平成10年1月18日「崎屋ふれあいとんど祭」

平成十年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、古志橋、崎屋橋、山崎上橋、新内藤川水門の構造物工事や、堤脚水路、残土処理場の準備工などを推進するとともに、本格的な堤防工事にも着手いたしました。また、新年早々には半分大橋下部、軟弱地盤対策、拡幅部工食用道路に着手するなど事業も順調に進捗しております。地域の皆様をはじめ関係者の方々のご理解とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

本年は、公共事業予算の削減など事業の推進にあたっては非常に厳しい状況になると予想されますが、昨年に引き続き、橋梁や水門などの改築工事、掘削・築堤工事、用地買収や埋蔵文化財調査を促進することも、新たに妙見橋の改築工事にも着手する予定です。

一日も早い完成を目指し努力してまいりますので、引き続き、本事業に対するご支援を賜りますようお願い申し上げます。

建設省出雲工事事務所長

鈴木 篤

築堤工事本格的にはじまる!!

～ 拡幅部堤防工事（出雲市西園町向原～大島町）の概要 ～

■工事区間と実際に盛土を行う箇所



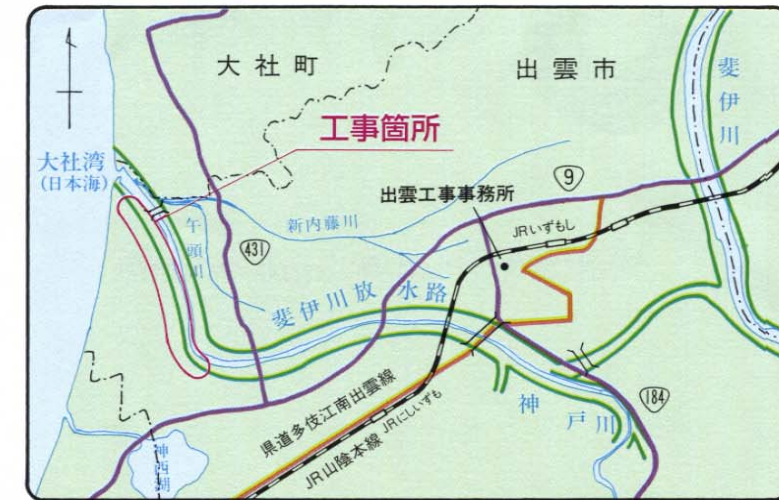
斐伊川放水路起工式から4年目の今年度、設計・試験施工・動態観測*をほぼ終了した拡幅部の築堤工事が本格的に始まりました。

新しい堤防は、斐伊川からの分流にも耐えられるように断面積が現在の堤防の約4倍もある大きなものになります。

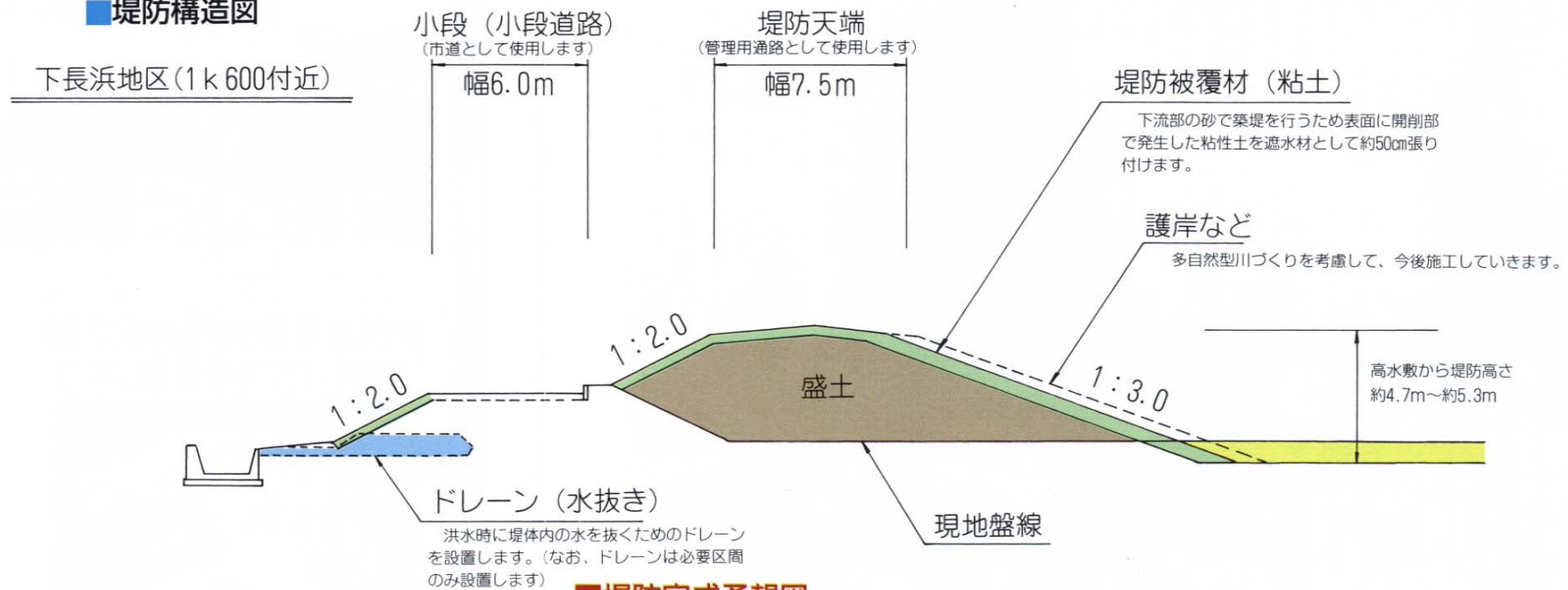
今回の工事では、工事区間約2.3kmのうち市道、橋梁の取付道路、未買収地などを除く約1.6kmの区間で完成堤防の高さまで土を盛ります。

*堤防を盛土することにより、地盤や盛土本体は沈下などにより変形をおこします。この変形状況を観測し、堤防の安定を確認することを「動態観測」といいます。

■位置図



■堤防構造図



■試験堤防



左の写真は、境橋左岸上流部にある実際の堤防と同じ大きさの試験盛土です。

現在放水路沿川の3箇所堤防の安定などを把握するための動態観測を行っています。

この試験堤防により、放水路予定地の地盤の特性がかなり解明できました。

今回施工される堤防は写真のような姿になります。

■堤防完成予想図



堤防の材料は運搬費がかからないように上の堤防構造図の黄色の部分のような、なるべく近い場所から持ってきます。

堤防の表面に張る粘土は堤防本体が安定し、護岸を施工するまでの間は、雨水などによる法面の侵食を防ぐ役割もします。

平成9年 出雲工事事務所10大ニュース



湖面清掃船「おろち丸」就航



地震、大雨災害多し！

自然災害が多発し、床上浸水や田畑の冠水などの被害を受けました。



新内藤川水門本体完成



現在、ゲートを取り付けています。

宍道湖でコノシロ、シジミが大量死

宍道湖を中心にコノシロの大量死が確認され、約21万匹回収しました。また、全国一の出荷量をほこるシジミの死貝も確認されました。

放水路（拡幅部）事業認定告示

放水路事業用地は平成8年度末に面積比で99%取得完了しました。残り1%の買収困難なものは、今後土地収用法により解決を図ります。

斐伊川改修70周年記念誌「斐伊川水系の鳥類」発行



県立美術館前湖岸堤に着手



芝生と御影石を使用し、水際の遊歩道も設けた憩いの場として利用できるような構造となっています。

イメージ図



建設省中国地方建設局 出雲工事事務所
〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当

山陰夢みなと博「快適夢凶館」1日館長に



河川愛護ポスター中国地方建設局長賞受賞
出雲市立河南中学校3年 平田真紀さんに1日館長をしていただきました。

工務課に工事係を新設

工事が本格化していく中、工事体制を一層強化し、放水路事業の促進を図っていきます。

光ファイバーの整備進む

出雲工事事務所から斐伊川大津観測所の間光ファイバーを整備することにより、河川の状況を事務所でリアルタイムに把握できるようになりました。